

# 金澤北ロータリークラブ



写真：関 稔(会員)

■金沢 ■北郊 ■散策

## 観音院

東山一丁目

観音院は、昔境内にあった支坊医坊院に移ったもので、それ以前はその上方に広大な敷地を有した大寺であったという。創建は三代藩主利常公。本堂は利常夫人天徳院が帰依して建立、藩主自ら庇護したため大いに栄えた。境内には立派な能舞台があって、元和3年から明治2年に至る253年の長き間毎年4月1、2日の両日神事能が催されにぎわいだ。四万六千日にはトウキビ市でにぎわう。

## 金沢百万石RC設立にあたって

特別代表 清水 忠君

18世紀、フランス革命を契機として確立された人類共通の理念は、自由、平等、友愛でありました。以来200年、人類の偉大な英知と努力によって自由と平等が、かなりの次元において実現したことは事実です。

しかし友愛はどうでしょうか。家庭において、社会において、はたまた地球人類のふれあいにおいて、生あるもの、命の尊厳を軽んじる時代の風潮をみるとき、友愛の実現こそいま人類が志向すべき最高の価値であり、悲願であることを否定できません。ロータリーの歴史は、正しくこの友愛の精神を地球規模で拡大することに、多年にわたる努力を傾注する歴史でもありました。

その認識にたち、金沢北ロータリークラブにも、25年の蓄積を結集して自らの手で新しいクラブを生み出そうという機運が今年度当初から高まり、静かなうねりとなっていました。その機運に勢い灯を点じたのは旧ろう12月、地区ガバナー公式訪問の際の、仲谷ガバナーの強い熱意と揺がぬ信念でありました。

そしてこの度、新クラブが飯野会長、炭谷幹事を中心に、女性会員12名を含む31名の有志で門出を迎えることができましたのも、石丸実行委員長はじめ移籍会員の信念と努力が実を結んだものであり、又厳しい環境の中で暖かい支援を惜しまなかった山上会長はじめ金沢北RC会員の協力、金沢7RCの皆様のご理解のお陰であります。皆様に心から厚くお礼と感謝を申し上げます。

新クラブは金沢百万石の名にふさわしく、歴史都市金沢の伝統と個性を大切に



し、小さくともキラリと光る城下町金沢の魅力を世界に発信することによって地域社会に貢献したいという抱負のもとに新しく旅立ちました。

その理念が、21世紀の地平に向かって一歩一歩着実に実現されることをこいねがい、金沢百万石ロータリークラブ会員の皆様の一粒の麦としての更なるご努力とご健勝をお祈りしましょう。

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に



